

# 【モニタリング1】

## はじめに

牛群の健康状態を皆さんは何を基準に判断していますか？診療依頼回数、自家治療回数、乳量・乳質、妊娠率？全ての牛の状態を把握している、フレッシュ牛は一定期間チェックしている等様々だと思います。

そこで今回は牛群の健康状態を表す身体モニタリング項目を紹介したいと思います。

## 身体モニタリング項目

モニタリング項目として重要な点には次の5つが挙げられます。

- 1.モニタリングスキルの習得が比較的容易
- 2.短時間で済む
- 3.再現性が良好
- 4.成績評価が牛群管理に有効

これらを満たしている身体モニタリング項目を、評価法、スコアリングデータが何を意味するか、管理上のポイント等をふまえ紹介します。（評価法の詳細は来月のM情報で紹介予定です。）身体モニタリング項目には以下のものがあります

ボディコンディションスコア（BCS）

ルーメンフィルスコア（RFS）

糞便スコア

## ボディコンディションスコア（BCS）

ボディコンディションスコア（BCS）は、乳牛の体脂肪蓄積量を評価します。約1ヶ月前からの栄養状態を反映します。BCSの評価法にはいくつかの方法がありますが、今回はペンシルベニア大学のDr.Fergusonによって考案された方法を紹介합니다。BCSはスコア1（極度の削瘦）からスコア5（強度の肥満）までを視覚と触覚を用いて0.25単位で表します。

乾乳期のBCSは3.00~3.75とされています。分娩後4~6週にかけてBCSは低下します。その低

下は0.75程度にとどめ、BCSは最低でも2.50にとどめるべきです。分娩後7週目頃から徐々にBCSは回復し、回復後のBCSは3.00~3.50程度が理想です。

牛群としてBCSが全体的または、ある乳期において低いまたは高い、または乾乳期と泌乳初期の差が1.00を超える場合は飼料給与について精査の必要があります。

## ルーメンフィルスコア（RFS）

ルーメンフィルスコア（RFS）は乾物摂取量を端的に評価します。約12時間以内の採食状況を反映します。評価は5段階で、スコアが低い程飼料を採食していないことを示します。

乾乳牛ではスコア4~5が望ましいです（最低でも3）。乾乳後期と泌乳初期では「スコア3以上が全体の80%以上」を目標とします。スコアが群として低い場合は、飼槽幅、飼槽密度、給与回数、餌押し回数、飼料の嗜好性、メニュー、等を検討する必要があります。

## 糞便スコア

糞便スコアは消化器の状態、給与飼料が適正であるかを評価します。糞性状スコアと糞消化スコアがそれぞれ5段階あります。

糞性状スコアは、水分含量が高いスコア1、2が問題となります。集団で発生している場合は消化管内の感染症についての検査が必要となります。また、ルーメン通過速度が速まっていると考えられる場合はカビなどの中毒物質の調査も必要となります。

## 終わりに

今回は身体モニタリング項目と、それが何を意味するかを紹介しました。来月はそれぞれの評価法について紹介する予定です。

富田大祐



Total Herd Management Service